

- 問1 奈良時代、墾田永年私財法をきっかけに貴族や寺院が広大な土地を所有するようになった結果生まれた、私有地のことを何という？
- 問2 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？
- 問3 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？
- 問4 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問5 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？
- 問6 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？
- 問7 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？
- 問8 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
- 問9 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問10 律令制において、中央政府から地方に派遣され、その地域の行政・司法・軍事を統括した役職を何という？
- 問11 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問12 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問13 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？
- 問14 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？
- 問15 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 問16 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？
- 問17 古代、中国の都から西アジアまでを結び、日本へ多くの貴重な文物や文化を伝えた交易路を何という？
- 問18 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 問19 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？
- 問20 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？
- 問21 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？